斜里町議会議員　４期目

桜井あけみ
議会レポート

No. 61

2021年12月28日発行

・真冬の雪原で出会うキタキツネは最高にかっこいいです・

みなさん　こんにちは

12月議会が終わりました。
コロナの感染数も少なくなって来た10月下旬頃から、人の移動が少し活発になって来ました。
そんな中、今年実施予定だった　産業厚生常任委員会の道外所管事務調査を実施しました。昨年は、総務文教常任委員会でした。
５名の委員会メンバーで、秋田、岩手の自治体事業、民間事業など５箇所に来訪させていただきました。北海道内の感染者数も少なくなって、安心感が出て来た１１月中旬でした。

が、今度は新しく「オミクロン株」が感染を広めています。
これまでの「デルタ株」と交代でしょうか？マスコミではすごくたくさんの情報が流れています。
国の対応も含めて「どうすれば良いんだろう？」と思いますが、しっかりと自分で考え、いろいろな情報の中から自分自身で信じられる情報を得ることが、大切なのかもしれないと思います。

コロナの情報だけでなく、私たちは溢れるほどの情報の中で暮らして、思想統制などが行われた時代とは全く違う環境になっています。
でも、きっと一番大切なことは、自分で考えて行動することですね。そんなことを思いながらの12月・・・。

さて、時間に追われる師走の最終週。年内に、この議会レポートを皆さんにお届けできるように。

１２月議会を中心に、桜井の意見など含めてお届けします。
読んでください。

12月議会の一般質問で・・町の課題である・・ゴミ問題関連に
５名の議員で構成する「町政研究会」が
それぞれの視点で　課題解決に向けた提案をしました。

●前回号で、ゴミのポイ捨て・不法投棄などについて読んでくださった方から、お電話やメールや、街でバッタリ会った時などにこの問題について、たくさんの意見や声をいただきました。皆さん本当に、なんとかできないものだろうか？と思いながら、気にかけながら暮らしていることを、改めて実感しました。
確かに個人の意識の問題ですが、町として、まだまだやるべきことはあるのではないかと思いました。斜里町はポイ捨て禁止条例のある町です。

そこで、５名のメンバーでこの課題について、行政も取り組んでできること、やらなければならないことについて話し合いました。
「啓蒙していく」「教育していく」「行政職員がゴミを片付けるている」
「町民ボランティアでゴミ拾いしてる」、それも大切なことですが、行政がやらなければならないことが、まだあるはずです。

この町をどんな町にしていくのか？
ゴミが散乱する町に暮らして、幸せですか？
私は嫌です。皆さんも嫌ですよね。
少しでも、できることから　みんなが一緒になって取り組もう！
を基本に５名それぞれの視点での一般質問でした。

これからも続けていくと思います。
是非皆さんも一緒に、このゴミ問題に関連する課題について
考えて行きましょう！

斜里町の議員は、町の人たちのためになるか？という視点で動くべきだと思います。
暮らしていて、楽しく思えるまちづくりが基本です。

そのために働く議員でありたい。

●ゴミに関連する　なんとかしたい！しなきゃいけない！一般質問！ひとつめ

●観光客のゴミは、持ち帰りばかりではなく、町のルールーに沿った分別をしてもらい、知床の価値をあげる取り組みに協力してもらうようなシステムを考えませんか？

●道端に捨てられたゴミは、もしかしたら観光にこられた方が、車の中から捨てられたものかもしれない。持ち帰れないゴミは、宿泊する場所においてくるかもしれない。飲食店でも引き取ったり、商店でも引き取っているかもしれない。
でも、そのまま捨てられるよりも、少しでも分別されていれば？そして、そうすることが知床の生態系を、自然環境を守る意識につながれば？

来てくれた方にとっても、気持ちよい意識につながるはずです。
統一された分別のゴミ箱を、各ホテルに設置してもらう。
そこに町からのメッセージを表示。
観光施設にも統一されたメッセージやマークを入れて、
人の目に触れる場所に設置する・・

他の一般質問で提案されたゴミポイ捨て禁止のキャンペーンと一緒に、トータルな町の姿勢の運動として連携しながら実施する。
見ぬふりをするのではなく、共有するルールの中で楽しんでもらう。

●「そんなことで、ポイ捨てが減るとは思えない、斜里町の分別に観光客が対応してくれることは難しい」と、町長はおっしゃっていましたが、１０人の方の半分が、少しでも気づいてくれたら、ゴミは減るはずです。
何もせずに、模索や検討はもう十分。

できることから取り組んで欲しいと思いました。

●観光施設整備するのは　今でしょ！一般質問しました　ふたつめ

●コロナで落ち込んだ、知床観光の底上げのために、町としてできることはなんですか？スピード感を持って対応してください！

コロナが発生する以前に比べて、宿泊者数は半分以下になっています。
そんな中でも、斜里町内の観光施設は、自分たちの力で、国や道、町の支援も受けながら、さまざまな取り組みを行なっています。

・観光協会も観光客の知床誘致へのために動いています。

・そして、そういう事業者をサポート支援する商工会の頑張り。

そんな中、あまり大きな落ち込みとならないキャンプ場や、夕陽台の湯を利用する方が増えています。
これは、これまでの人気上昇と、コロナ感染による観光客ニーズの変化だと思います。
しかし、ウトロのキャンプ場はこれまでも人気のあるキャンプサイトでしたが、施設の老朽化が進み、トイレなどは不衛生な状態が続いています。
夕陽台の湯は、故障を繰り返し、繁忙期に使えない状況が続くなど、施設自体の老朽化が進み、利用者の需要に対応できない状態です。
町は、こうした施設整備の対応を早急にすべきです。

知床にとっては、キャンプ人口は大きな経済人口です。そして、温浴施設は大勢の方が利用されます。
多様な観光ニーズに対応を！

●町長は、これら施設の位置付けを検討して・・とおっしゃいましたが、これらの課題については町の、観光振興計画にしっかり明記されています。
いつまでも、検討ではなく、このような時期だからこそ、早急に対応すべきです。

●コロナ感染の影響で売り上げが落ちている宿泊業、飲食業への食べて・泊まっての支援クーポンです。

総額１億円を超えるお金が、飲食店、宿泊施設に使われる・・経済支援です。

１万円分はみなさんが購入する金額。
そこに5000円分のプレミアム分

そのうち4000円が町の補助
残り1000円が北海道の補助です。

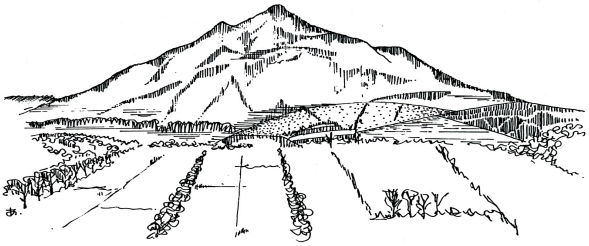
みなさんは購入されましたか？お得なクーポンということで、12月22日に完売となりました。こうした**緊急的な支援**については、斜里町は的確に状況を捉えて対応をして来ていると思います。**特に観光産業**に関しては、今後、待った無しの対応に取り組まなければならないと思います。

●福祉灯油事業　一万円の支給

ガソリン、**灯油の価格高騰**がすごいですね。町の補正予算にもたくさんの燃料費の追加が計上されています。自治体によっては、灯油を100ℓ支給という所もありますが、斜里町は10000円の現金給付となります。
全体予算で８１４万円です。

●太陽光発電や風力発電の設置について、条例が制定されます。来年4月から施行

条例の制定に伴いパブリックコメントも募集されました。（コメントはなし）
最近の目に余るような設置については、各地から問題の声が上がっています。



●３回目のワクチン接種
1月中旬には対象となるかたへ、順番で通知が届き2月頃から摂取がスタートする予定です。

また、これまで摂取をされていない方も、連絡をすれば対応してくれます。

●子育て世帯への臨時特別給付金

現金半分と、クーポン給付？事務経費に９６０億円も余分にかかる・・ということでした。
役場の担当からは、クーポン対象店舗でも、さらには行政の職員が行う手間がすごく大変そうでした。が、斜里町は一括現金給付もオッケー、という状況で素早く対応し、早い世帯では、もう給付されています。
国の視点の中には、地方が入っていないんだなぁと思うような取り組みでしたね。
さらに、今回の給付の目的自体が、曖昧になっているようにも思えました。

斜里町の対象者は１８００名で。
事務経費含めて１億8286万円の事業です。

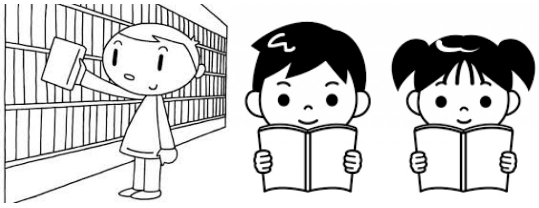
●住民非課税世帯に対する臨時特別給付金

コロナによる家計急変世帯も対象になります。
対象世帯は１５００世帯見込み
対象世帯へ１０万円
１億5890万円の事業です。

●斜里町奨学金が全額免除

これまでも、斜里町にUターンして1/2償還免除範囲は全職種でしたが、さらに４つの職種の町内就労の場合は全額償還免除となります。

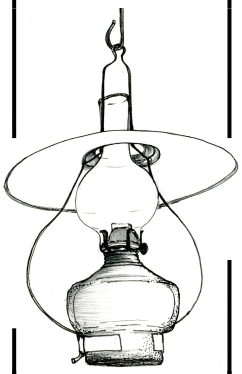
・保育士・幼稚園教諭
・介護士・看護師



●図書館の開館時間が　変わる予定です（全員協議会で説明がありました）

開館から５年がたった新図書館です。これまで朝１０時から夜は８時までの開館でしたが、遅い時間の利用者が少なく見直しを検討しています。（朝１０時から夜７時まで）
また、通常は月曜日閉館ですが、月曜日が休日と重なった場合は開館していましたが、わかりにくいことと思った以上に利用者が少なかったことなどで、月曜日は全て休館にすることを検討しているそうです。

最近・気になる



あれとかこれとか

・最近思う・・どんな町にしようと　思っているのかな？

これまでも町は、３つの産業が大きな柱であり、町長は「幸せ実感！あったか斜里町」が政治理念であるとおっしゃっています。
人と人の信頼できるつながりが大切だと。
豊かな自然環境に支えられる産業を含めて、その価値を高めて行きたいと。

「捨てられたゴミを見ると、心がさみしくなる。最近は、そう感じることが多い。お金がない、財政が大変だと言われて、町民も我慢しているけれど、その先に、町のビジョンが見えない。どうしようとしているのか？やるべきことは、あるのでは？誇りを持って、ようこそと言えるか？」

アクションプラン説明会の後に聞こえた声でした。

「恥ずかしいよ。生態系の循環とか自然豊かと言われている知床の価値を魅力を体験する人たちが来てくれる。
なのに、ゴミ。トイレ。施設の現状は、残念だよね。」

大きな施設など望んでいない。それを産業と捉えるなら、そのために町はできる限りの投資をすべきです。

価値を高めるための投資。それが町の事業であるべきかなぁと。
目の前にある課題に、信頼できる町の人たちと取り組みながら、良い環境にして行く。地味だけれど。

斜里町ならできると思うんだけどね。

・今期３年経って思うこと

＊１２月議会の、最終日の夜は、議員と理事者との懇親会（忘年会？）こうして、以前の状態に戻るのかしら？と思っていたら、また、じわじわと感染者が増えてきました。

議会の役割とは、なんなのでしょう。
前期は、議会のあり方についての特別委員会まで設置され、４年間たくさんの協議時間を費やしました。
そして、今期。そうした情報も共有されていないように思います。

＊そしてもう一つ・気になったことは
・災害義援金のお願いが新聞チラシに入って
・募金をしに行ったけど、箱がない・・（以前から）
・こっち（別の義援金箱）に入れれば？と言われて、
・・・募金する者の気持ちに応えてほしい

という内容です。どうして対応できないのでしょう？
町民の声が届いていたはずなのに。
担当はすぐに、今後そういうことがないように対応しすると言ってくれました。　　褒められる役場・・
町民の皆さんの声を、苦情と捉えるだけでなく、そこにある課題や指摘が、さらに町を良くすることにつながるかもしれないと思っています。

ご意見やご感想など、お気軽お寄せください。
よろしくお願いします。

・もうじき終わる２０２１年

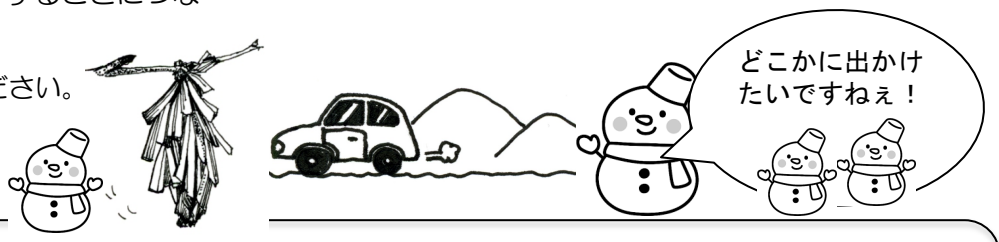
今年も、コロナ感染に振り回された１年でしたが、日常生活はおかげさまで、何も変わらず。
山へ登ったり、秋には山葡萄を採りに行ったり。
庭仕事を頑張りました。
孫との距離が、物理的に近くなったことで、多くの刺激をもらえるようになりました。

最近は、若い年代の方からも議員としての私に、さまざまな意見や、問いかけをいただく機会が増えてきました。町のこと、議会のことに興味を持っていただけるのはとても嬉しいです。そして、若い世代のセンスの良さに、情報に、教えられることが多いです。

先日から凍える気温が続いています。年末年始は実家の母と、家族揃って過ごすことにしています。来春で89歳になる母におせちを作ってもらい
みかんを食べて過ごします。

ここまで書いて、やっと皆さんにお届けできるめどがつきました～

２０２２年良い年になりますように！



ツイッターとフェイスブック　で　ほぼ毎日・情報発信しています。
桜井あけみ　か、SAKURAI AKEMIで検索してください。
■　議会レポートをブログの方に掲載します。
■　桜井あけみ「ふつう」の生活　で検索しても出て来ます
■　http://akemiburogu.sblo.jp/　コメントを待っています。
「桜井あけみ後援会」活動報告書　099-4351 斜里町ウトロ香川１０４

メールアドレスは
koe@akemichan.net
です。

携帯からのメールは、こちらからの返信が届かないこともあります。ご了承ください。

文中の誤字脱字については、お許しください。ごめんなさい・・・